

「膀胱留置カテーテル早期抜去を目的としたスタッフへの行動変容に向けた取り組みの有効性を検討するための看護研究」について

当院では以下の臨床研究を実施しております。本研究は、通常の診療で得られた記録をまとめることにより行います。このような研究は厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の参加拒否などに関するお問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。また患者さんが研究参加の拒否をされた場合でも、不利益等は生じません。

【対象となる方】

2021年4月～2022年11月までに7西病棟に入院された患者様

2022年12月～2023年3月に7西病棟に入院となる患者様

【研究課題名】

膀胱留置カテーテル早期抜去を目的としたスタッフへの行動変容に向けた取り組み

【研究機関】

独立行政法人国立病院機構災害医療センター7階西病棟 看護部

【研究責任者】

福里麻美 7西病棟 看護師

【研究背景】

7西病棟に入院中の患者の多くは脳神経領域の疾患により運動機能障害をきたし、排泄行動を自立的にとることが難しいことや、脳浮腫治療薬使用に伴う脱水や脳血管攣縮予防のための循環動態把握を行う目的で膀胱留置カテーテルが挿入されている場合が多い。しかしスタッフの中に膀胱留置カテーテルの早期抜去に向けた働きかけが少なく、長期間挿入されたままであることが多い。その結果、尿路感染のリスクが高くなってしまふことが考えられる。

【研究目的】

膀胱留置カテーテル早期抜去を目的としたスタッフへの行動変容に向けた取り組みを行い、その有効性を検討する。

【研究の方法】

本研究は厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のもとに実施されています。使用するデータベースは匿名化処理がされており、個人情報提供されることはなく個人情報を扱うことはいたしません。情報収集する項目は、膀胱留置カテーテルの挿入の有無、挿入期間です。

【研究期間】

倫理委員会承認日から2023年3月までとします。

【公表方法】

本研究から得られた情報は、情報を匿名化したあと各種学会での報告として公表予定です。

【問い合わせ先】

〒190-0014 東京都立川市緑町 3256

独立行政法人国立病院機構災害医療センター7階西病棟 担当看護師 福里麻美

電話 042-526-5511 FAX042-526-5535